

今回は、第3回中学生模擬国連会議の報告です。

## ◇ 関高校の中学生模擬国連会議とは…

関高校主催の中学生模擬国連会議は今回で第3回目を迎えます。

中学生模擬国連会議とは、中学生たちがひとつの国の大使になりきって仮の国連総会に参加し、他国の大使と自分の国の利益や世界情勢を考えながら議論を深め、一つの課題を解決していく会議です。主役はあくまで中学生。高校生のフロントスタッフと大使役は「調整役」「盛り上げ役」。高校生による中学生のためのイベントです。

テーマは今まで同様、架空の「国連カフェ」のメニュー決め。各国大使を割り振られた中学生（2人1組）は、国連カフェで提供されるメニューを作成する過程で「せかいのいま」を学びます。同時に、自国の利益や世界のあるべき姿を求めて「合意形成」をめざします。

## ◇ 会議の進行と当日の日程

当日は、中学生大使11組（21名）が参加しました。ブラジル、中国、フランス、インド、イラン、イタリア、コロンビア、ケニア、フィリピン、トルコ、アメリカに扮した各国大使は、事前に配付された「参加の手引き」「国別基本情報」などをもとに、自国産品を生かしたメニュー案をあらかじめ作成しておきます。カフェのコンセプトは「多文化」と「リフレッシュ」。このふたつの条件をクリアしながら、かつ国益を追求する必要があります。

会議の進め方には、全体交渉と自由交渉とがあります。前者は全体会議であり後者個別交渉となります。高校生の模擬国連会議では、おおむね自由交渉に時間を費やす傾向がありますが、関高主催の中学生模擬国連会議は、全体会議に重きがおかれるのが特徴であり、今回も堂々たるスピーチと議論が展開されました。

会議には、高校生大使も「盛り上げ役」として参加します。今回は5組10名の高校生が参加しました。うち3名は加茂高生、1名は武義高生です。現状、主催は関高校ですが、昨年度から他校生が参加してくれています。地域の高校生が協力し、地域の中学生の活動を盛り上げる。それがこの中学生模擬国連会議の目的のひとつです。

会議を支えるスタッフ9名のうち、3名が3年生、6名が1年生です。3年生3名はディレクターとして全体統括を務めました（うち1名は加茂高生）。6名の1年生のうち2名が共同議長、4名が事務官（書記・連絡係）を務めました。円滑な会議進行のカギを握る重要な役どころを1年生が見事に務めました。今回のイベントの大きな成果のひとつです。

全体日程は以下の通りに進みました。なお、会議の正式報告書に関しては、3年生3名が担当していますので、別途お読みください。

### ○ 実施日 7月17日(日)

- |             |                             |
|-------------|-----------------------------|
| 10:00       | 企画開始                        |
| 10:30 10:45 | 会議の全体説明・質問受付                |
| 10:45 12:00 | 1st session (会議時間：1時間15分)   |
| 12:00 12:40 | 昼食                          |
| 12:40 15:30 | 2nd session (会議時間：2時間50分)   |
| 15:30 16:00 | 会議終了・会議講評・最優秀大使賞の発表・アンケート記入 |
| 16:00       | 企画終了                        |

◇ 当日の様子



高校生フロントスタッフの活動



モデレートコーカス（全体会議）の様子



アンモデレートコーカス（自由交渉）の様子



政策のすり合わせ



学校の枠を超えた仲間たち



美濃加茂市長の参観